

◆◆◆防災訓練に参加して◆◆◆



今回の訓練は、全体としてスムーズに進んだが、日ごろから各機関が、それぞれの立場で防災意識を高め、対応力を底上げすることが大切。消防団や市役所、警察などと連携することで、災害現場でも意思疎通が図れ、スムーズな対応ができると感じている。

(京都中部広域消防組合 園部消防署 警防課
主任消防指令補 鹿島学さん)



今日の訓練では想定外のことが起こり、急に患者が運び込まれた。本番でもあることなので、関係機関と協力して取り組みたい。「みんな助けたい」という気持ちはあるが、次々と患者が運び込まれてくる現場では、トリアージ（症度判定）に準じて、時には感情を抑えて行動することも大切だと感じた。

(公立南丹病院DMAT隊員 西川享さん)

前回の訓練を踏まえ、大変立派な良い内容の訓練ができたと思う。今日の訓練は、これから発生する災害に対して必要な訓練だという思いがある。これからも、日々訓練を続け、安心安全の備えにしたい。

(南丹市消防団長 益田武彦さん)

住民同士の連携がとれた良い訓練だった。消防団やふれあい委員の皆さんとともに、独居老人のお宅を一軒一軒訪問したことで、誰がどこに住んでいるのかということ把握できた。万一災害が起きても、安否確認がスムーズにでき、各組長に指示が出せるなど、区長としての役割を果たすことができると再確認した。

(南地区区長会長 石田純さん)

小学生のころは、災害なんか起こらないと思っていたので、避難訓練は邪魔くさかった。でも、災害が身近なものに感じられてきた。今日の訓練では担架隊をしたが、担架をちゃんと運ぶことがすごく重要な役割だと認識した。けがをされた方を運ぶとき、集中すればするほど自分たち中心になってしまう。私たちが声を掛けてあげるなど、気遣いをしてあげることが大切だということがわかった。

(公立南丹看護専門学校2年 佐々木朋子さん
西山菜央さん)



早朝からの訓練で、一時避難所に避難していた殿田区、木住区、生畑区、中世木区の住民が、収容避難所に指定している殿田中学校へ避難する、避難訓練を実施しました。

殿田中学校体育館で園部消防署日吉出張所の署員を講師に、毛布やシートを利用した簡易担架の作り方や、三角巾を利用した手当の方法について講習会が開かれ、住民や地元消防団員が指導を受けました。

また、グラウンドへ移動し、バケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。

美山町では、平屋小学校を会場に、取り組みました。

一時避難所となっている各地区の公民館から、上平屋区、安掛区、野添区の住民が、平屋振興会からの避難指示に従い、収容避難所に指定している平屋小学校まで、消防団員や市職員の先導で避難する避難誘導訓練を実施しました。

平屋小学校へ移動したあとは、消火器の取り扱い訓練や、区ごとに隊列を組んでのバケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。

美山町地域



■ 写真 ■ ①避難誘導訓練②消火器取り扱い訓練③AED体験④資機材使用体験（以上園部）⑤初期消火訓練⑥簡易担架の作り方講習⑦三角巾を利用した手当方法の講習（以上日吉）⑧初期消火訓練⑨消火器取り扱い訓練（以上美山）